

目次

謝辞	8
はしがき	9
序	10

PART 1：有限な資源14



流れ去る水	16
世界の水のわずか2.5%が淡水である。 このうちの3分の2以上を人間は利用できない。	
増える人口、足りない水	18
世界人口の3分の1以上が水不足で、 状況は悪化している。	
増大する需要	20
毎年より多くの淡水が、 農業用、工業用、そして家庭用に 取水されている。	
水の収奪	22
世界人口の4分の1以上が 飲用水を地下水に依存しているが、 補充されるより速い速度で利用されている。	

PART 2：利用と濫用24



家庭における水	26
取水される全水量のわずか10%が家庭用だが、 使用量は国によって大きく違う。	
食料のための水	28
全淡水取水量のほぼ70%が農業に利用されているが、 それでも何百万人もの人々が栄養失調状態である。	
灌漑（かんがい）	30
灌漑用地は、灌漑されないところより、通常は生産性が高いが、 管理がますいと水浸しになり、不毛の土地となる。	
農業による水汚染	32
工業化された農法、収量増大のための化学薬品使用は 世界の水供給問題を大きくしつつある。	
工業用水	34
新興工業国は向こう25年にわたり使用水量を増加させる必要がある。 しかし適切にコントロールしないと水源をさらに汚染することとなるであろう。	

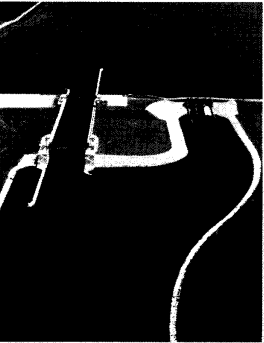
産業汚染	36
産業汚染物が世界の水をどんどん汚染するにつれて、 それが環境と地下帯水層に及ぼす長期的な影響が明らかになりつつある。	
発電用水	38
水力発電は世界の再生可能エネルギーのもっとも重要な源であり、 世界の電力の約5分の1を供給している。	
ダムはダメ？	40
世界の45,000の大規模ダムは大河川の6割に影響を与え、 8,000万人の人々に移住を余儀なくさせた。	

PART 3：水と健康42



水に手が届くか	44
10億人以上の人が依然として 信頼できる水源を容易には利用できない。	
公衆衛生	46
公衆衛生の向上は疫病に立ち向かう基本となるものであり、 人々の生活水準改善の出発点である。	
汚れた水で人が死ぬ	48
汚水は年間170万人の死因となっている。 これは、乗客の9割が子供であるジャンボジェット機10機が 毎日衝突しているのに相当する。	
疫病のアジト	50
水は依然として世界中でもっとも人を殺すものの温床となっている。	
密やかな水汚染	52
飲料水中の微量化学物質は体中で蓄積し、 健康に壊滅的影響を与えることがある。	

PART 4：自然界の改変54



水を分かť	56
世界の大河川で、自然のまま流れている河川はほとんどない。 たいていの河川はエネルギー、灌漑（かんがい）の供給に使われてきている。 河川によっては環境と人間に多大の犠牲を強いつつ、 もともとの流路から数百kmも離れたところを流れている	
湿地帯の干拓	58
湿地帯は世界の淡水資源の健全性の保全に寄与しているが、 急増する人口を吸収するために、干拓して土地開発しても 構わないと思われることが多い。	
地下水のくみ上げ	60
世界の帯水層は貴重な資源としてくみ上げられている。 地下水は莫大ではあるが、無尽蔵ではないため、 多くの地域で水位は急速に低下している。	

